

## 2025 年度第 3 回（通算 214 回例会）技術情報交換会の案内

小松マテーレ（株）

炭素繊維より線を用いた既設工場建物の耐震補強工法の開発

三菱重工業（株）

航空機複合材廃材のリサイクル活用の取組み

川崎重工業（株）

水素航空機用 複合材料製 液化水素貯蔵タンク技術開発

一般社団法人先端材料技術協会（SAMPE Japan）の技術情報交換会は、JEC World 2026 の報告 2 件と製品・技術紹介 3 件を企画しました。今後の会員皆様が進むべく方向の参考になれば幸いです。

講演会終了後、同会場で名刺交換の時間がありますので 情報交換の場としてご参加ください。技術交流会の会場である山上会館が 7 月初旬まで工事のため、今回技術交流会は行いません。

尚、技術情報交換会は、年 3 回程度開催していますが、製品・技術紹介を通じて会員相互の情報交換及び交流の促進などのネットワークの作りを目的としております。次回以降の製品・技術紹介の発表を ご希望される方やその他のご要望・ご相談等ございましたら、技術情報交換委員会に、お気軽にご連絡ください。技術情報交換会での製品・技術紹介は、SAMPE Japan の製品・技術賞の候補の対象となります。

記

1. 日時： 2026 年 6 月 2 日（火） 13:00 ～ 17:00
2. 場所： 東京大学本郷キャンパス工学部 2 号館 213 号講義室（13:00 ～ 17:00）
3. 参加費： 技術交流会はありませんので下記の参加費となります。

### 正会員

- ・ 個人登録 10,000 円（不課税）
- ・ 名誉会員 7,000 円（不課税）
- ・ 永年会員 7,000 円（不課税）
- ・ シニア会員 7,000 円（不課税）

賛助会員（5 人/口まで） 10,000 円（不課税）

学生会員 無料（講演会のみ）

非会員 21,000 円（税込）

4. 定員： 100 名

## 参加申込

お申込みは以下の参加登録システムをご利用下さい。

<https://service.gakkai.ne.jp/society-member/auth/apply/SAMPE>

尚、申し込み期限は、5月27日(水)17時までとしますので、お早目にお済ませください。

登録料支払い方法を以下の2方法といたします。

- ・ クレジット決済
- ・ 銀行払

※ 会員ID・パスワードが不明な方は下記宛にお問い合わせ下さい。

(一社)先端材料技術協会事務局

Tel: 03-5981-9824 Fax: 03-5981-9852 E-mail: [g001sentan-mng@ml.gakkai.ne.jp](mailto:g001sentan-mng@ml.gakkai.ne.jp)

## 技術情報交換会参加手順

### 1 参加登録システム

<https://service.gakkai.ne.jp/society-member/auth/apply/SAMPE>

から申し込んでください。

- ✓  クレジット決済 あるいは  請求書による銀行払いを選択してください。  
請求書・領収書はオンライン発行となりますのでご自身にてダウンロードして下さい。

- ✓ ご不明な点は [g001sentan-mng@ml.gakkai.ne.jp](mailto:g001sentan-mng@ml.gakkai.ne.jp) までお問合せください。  
(注1) 締め切後の返金を致しかねます。欠席の場合、代理の方のお名前を事前に、ご連絡いただければ参加可能です。  
また返金の場合、振込手数料を差し引いての返金となります。

### 2 上記手続き完了後、参加登録完了メールを送付いたしますので、プリントアウトして会場にご持参ください。

## 【プログラム】

12:30 ~ 13:00 参加者受付・入室

13:00 ~ 13:05 開会挨拶

技術情報交換委員会委員長 馬場 俊一

連絡先: [shunbaba@sunwa-trading.co.jp](mailto:shunbaba@sunwa-trading.co.jp)

13:05 ~ 13:20 **JEC World 2026 Japan Pavilion**

JEC 2026 報告 (1) **先端材料技術協会**

事務局長

染谷 佳昭様

世界最大の複合材料ビジネスプラットフォームである JEC World 2026 に日本企業・団体・研究機関：12 組織が出展し Japan Pavilion を構成した。当協会はフランス見本市協会 (Promosalons) と協力し、出展組織を全面的にサポートした。その募集から出展に至る活動を報告する。

13:20 ~ 13:50 **SUMMIT および JEC 視察**

JEC 2026 報告 (2) **先端材料技術協会**

副会長

宇都宮 真様

SAMPE Europe が主催し CFRP の最新動向を紹介する SUMMIT と世界最大の先端材料と生産技術の展示会である JEC World の視察を 3 月 8 日から 15 日にかけて行った。JEC の後にはアムステルダムへ移動し、4 社 1 大学の工場視察を行った。その内容について、JEC の展示を中心に紹介する。

13:50 ~ 14:40 **炭素繊維より線を用いた既設工場建物の耐震補強工法の開発**

製品・技術紹介 (1) **小松マテレー株式会社**

技術開発部 先端材料 G チーフ 瀧能 功介様

当社は炭素繊維より線を耐震補強用に開発したが普及せず、メーカー保証だけでは新建材は広がらないことを痛感した。そこで新市場創造型標準化制度を活用し標準化を実施した。古い工場が多い日本で、JIS 適合のより線を用いた“工場稼働を止めない補強工法”を開発し、第三者認証取得にも挑戦している。南海トラフ地震に備え、古い工場を持つ経営者へ現実的で有効な新たな選択肢を提供し、社会貢献と新市場創造を目指す。

14:40 ~ 14:55 **休憩・換気**

14:55 ~ 15:45 **航空機複合材廃材のリサイクル活用の取組み**

製品・技術紹介 (2) **三菱重工業株式会社**

特殊システム研究推進部 航空宇宙システム研究室

主席研究員

金升 将征様

&

**三菱電機ホーム機器株式会社**

家電製造部 家電技術課

内田 龍一様

炭素繊維複合材料は、その軽量、高強度な特性から、旅客機の主翼部分などへの適用が拡大している一方、炭素繊維製造時のエネルギー負荷が大きく、また廃棄処理時にかかる環境への負荷も大きな課題となっている。

本報告では、炭素繊維複合材料のリサイクル化に向けた取り組みとして、安定したリサイクル材を供給できるサプライチェーンの構築とリサイクル材特有の技術課題の克服に向けた活動概要について紹介する。

**15:45 ~ 16:35 水素航空機用 複合材料製 液化水素貯蔵タンク技術開発  
製品・技術紹介 (3) 川崎重工業株式会社**

**航空宇宙技術本部 材料開発課 基幹職 奥村 謙士郎様**

本講演では、川崎重工業が水素航空機の実現に向けて検討しているコア技術の一つとして、真空二重構造によって断熱性能を確保する複合材料製液体水素貯蔵タンクの開発について紹介します。

これまでにスケールモデルのタンクを成形し、その製造性を確認しており、加えて液化水素の充填試験を実施し、極低温環境下におけるタンクの貯蔵性を確認しました。液化水素貯蔵タンクに複合材を適用する際に重要となる「製造性」と「貯蔵性」を確認することで、複合材料の適用可能性を見出しました。

**16:35 ~ 16:45 連絡事項・閉会**

**16:45 ~ 17:15 名刺交換**

**【アクセス】**

最寄りの各地下鉄の駅から、工学部 2 号館まで

東京メトロ丸ノ内線 本郷三丁目駅出口 3 より、東大正門を経て徒歩約 25 分

都営大江戸線 本郷三丁目駅 出口 3 より、東大正門を経て徒歩約 25 分

東京メトロ南北線 東大前駅 出口 1 より、東大正門を経て徒歩約 25 分

東京メトロ千代田線 根津駅 出口 1 より、東大正門を経て徒歩約 20 分

最寄りの各地下鉄駅からの位置概観



写真による、東京大学本郷キャンパス工学部 2 号館への行き方を必ずご参照ください。

[https://clin.or.jp/?page\\_id=2287](https://clin.or.jp/?page_id=2287)

以上